

問1 近畿地方の各府県に関する統計資料において、伊勢湾に面し、三重県の行政の中心である県庁所在地として記載される都市はどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 津市 2. 四日市市 3. 大津市 4. 松山市

問2 近畿地方の各府県の地理的特徴をまとめた説明において、海に面していない「内陸県」に該当する県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 滋賀県と奈良県 2. 滋賀県と三重県 3. 奈良県と京都府 4. 奈良県と和歌山県

問3 近畿地方の東部に位置する三重県の産業について述べた文として、地形や立地との関係が最も適切なものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 内陸部には世界的な企業の工場を含む輸送用機械の拠点が位置し、沿岸部には鉄鋼業が立地している。また、複雑に入り組んだリアス海岸では真珠の養殖業が盛んである。
2. 広大な砂丘を利用したスプリングクラーによる農業が発達しており、内陸部では食料品工業、沿岸部では造船業がそれぞれ地域の主要な産業となっている。
3. 山地を切り開いた扇状地での果樹栽培が盛んであり、沿岸部には石油化学コンビナートが集中する一方、内陸部では伝統的な繊維工業が現在も最も大きな割合を占めている。
4. 干拓によって広げられた平野部で大規模な稲作が行われ、リアス海岸の入り江では、その激しい潮流を利用した遠洋漁業の基地が数多く整備されている。

問4 上空から撮影した写真において、海の上に浮かぶ島に滑走路が設置されており、その海岸線が人工的な直線状になっている空港があります。この空港の立地に関する説明として、正しいものを選びなさい。（2017年 山形県公立入試 類似）

1. もともとあった自然の島を、滑走路を建設するために拡張した土地である
2. 周辺の海を埋め立てて造られた人工島であり、計画的に開発された土地である
3. 海岸近くの浅瀬を干拓して農地にした後、空港として転用した土地である
4. 大規模な地震によって海底が隆起してできた土地を利用して建設された

問5 琵琶湖における赤潮の発生日数は、1970年代後半のピーク時と比較して、2000年代以降は数日程度にまで大幅に減少しました。この変化をもたらした主な社会的・制度的要因として最も適切なものはどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進
2. 琵琶湖の面積を拡大するための干拓事業の停止と自然保護区の指定
3. 高度経済成長期に建設された大規模ダムによる、湖水の流入量制限
4. 琵琶湖周辺における製造業の工場の全面撤退と、観光地化への転換

問6 阪神工業地帯に位置する東大阪市は、日本を代表する「ものづくりのまち」として知られています。この東大阪市の工業的な特徴について、名古屋市や横浜市といった他の工業都市と比較した際の傾向として正しいものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）

1. 単位面積当たりの事業所（工場）の数が非常に多く、密集している。
2. 製造品出荷額が全国の市町村の中で最も高い数値を示している。
3. 大規模なコンビナートが海岸沿いに広大な面積を占めている。
4. 一事業所あたりの従業者数が他の大都市に比べて極めて多い。

問7 近畿地方に位置する兵庫県の文化財や地域的特徴に関する記述として、2014年時点の統計に基づいた適切なものはどれですか。（2017年 京都公立入試 類似）

1. 建造物の国宝・重要文化財の指定数が全国で4位であり、近畿地方の中でも多くの文化財を保持している。
2. 人口が全国で4位であり、重要文化財の指定数も大阪府や三重県を抑えて全国で最も多い。
3. 面積が全国で4位と非常に広く、その広大な土地の多くが重要文化財の指定範囲に含まれている。
4. 建造物の国宝・重要文化財の指定数は全国で12位であり、人口や面積の規模に比べて文化財が少ない。

問8 滋賀県にある主要な城郭の変遷をたどると、戦国時代初期の小谷城などは険しい山の上に築かれていましたが、その後の長浜城、彦根城、安土城、大溝城、坂本城はいずれも琵琶湖の湖岸近くに位置しています。このように、有力な武将たちが拠点を湖岸へと移していった歴史的背景に関連する記述として、誤っているものはどれですか。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 湖上の交通の要所を支配することで、年貢や特産物の流通を管理し、経済的な利益を得る目的があった。
2. 船を活用することで、陸路よりも大量の兵員や重い軍需物資を迅速に輸送することが可能であった。
3. 城の周囲に水を引き込んだり湖に面したりすることで、敵による包囲や攻城を困難にする防御上の利点があった。
4. 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>津市</b>	伊勢湾の西岸に位置する津市は、三重県の行政機能が集中する県庁所在地です。三重県内では四日市市が最大の人口を擁し、中京工業地帯の一角として石油化学コンビナートが広がる工業都市ですが、県庁は置かれていません。また、名称が似ている大津市は滋賀県、松山市は愛媛県の県庁所在地であるため、漢字の書き分けや位置関係を正確に把握しておく必要があります。
問2	<b>答え 1</b> <b>滋賀県と奈良県</b>	近畿地方は2府5県（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、三重県）で構成されています。このうち、海に面していない内陸県は、県の中央に琵琶湖を抱える滋賀県と、歴史的な文化遺産が多く残る盆地を中心とした奈良県の2県のみです。京都府は日本海、三重県と和歌山県は太平洋や紀伊水道などに面しています。
問3	<b>答え 1</b> <b>内陸部には世界的な企業の工場を含む輸送用機械の拠点が位置し、沿岸部には鉄鋼業が立地している。また、複雑に入り組んだリアス海岸では真珠の養殖業が盛んである。</b>	三重県の内陸部（鈴鹿市など）には自動車関連の輸送用機械の工場が集積しており、伊勢湾に面した沿岸部には四日市市などを中心に鉄鋼業や石油化学工業が立地しています。また、県南部の志摩半島は、小さな岬と入り江が複雑に入り組んだリアス海岸となっており、波が穏やかな環境を利用した真珠の養殖業が古くから有名です。
問4	<b>答え 2</b> <b>周辺の海を埋め立てて造られた人工島であり、計画的に開発された土地である</b>	関西国際空港は、山を削った土砂などで海を埋め立てて造られた人工島に位置しています。自然の島を利用したものではないため、海岸線が不規則な形状ではなく、人工的な直線になっているのが特徴です。
問5	<b>答え 1</b> <b>滋賀県内における下水道普及率の上昇や、環境配慮型農業の推進</b>	赤潮の原因となる富栄養化を防ぐため、滋賀県では下水道の整備が急速に進められました。これにより、家庭からの汚水が直接湖に流れ込むことが抑制されました。また、化学肥料や農薬の使用を抑える環境配慮型農業（環境こだわり農業）の普及も、湖水の水質改善に大きく貢献しています。統計資料でも、下水道普及率の上昇と反比例するように赤潮の発生日数が減少していることが示されています。
問6	<b>答え 1</b> <b>単位面積当たりの事業所（工場）の数が非常に多く、密集している。</b>	阪神工業地帯に位置する東大阪市の最大の特徴は、中小工場の圧倒的な集積です。名古屋市や横浜市のような他の大都市と比較した場合、市の面積は小さいものの、事業所（工場）の密度が非常に高いというデータが得られます。これは、限られた土地に多数の中小工場がひしめき合っている「ものづくりのまち」としての性格を反映したものです。
問7	<b>答え 1</b> <b>建造物の国宝・重要文化財の指定数が全国で4位であり、近畿地方の中でも多くの文化財を保持している。</b>	兵庫県は古くから交通の要所として栄えた歴史があり、神社仏閣や城郭などの建造物が数多く残されています。統計データで見ると、人口規模（全国7位）や面積（全国12位）に対して、建造物の文化財指定数が全国4位と非常に高い水準にあることがわかります。これは、近畿地方の他県と比較しても、歴史的価値の高い建物が良好な状態で保存・継承されていることを示しています。
問8	<b>答え 4</b> <b>当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。</b>	安土城や長浜城が築かれた時代は、すでに鉄砲が合戦の主力となっており、城の構造も鉄砲戦を意識したものに変化していました。湖岸への立地移動は、単なる安全確保（生活の場）のためではなく、水運による「流通の支配」と「迅速な軍隊移動」という、天下統一に向けた政治的・経済的な戦略に基づいたものです。一方、以前の山城（小谷城など）は、交通の利便性よりも山岳地形を利用した防御に特化したものでした。